助産師教育ワーキンググループの検討内容

第４回　資料８
Ｈ２２．３．５

（助産師教育ワーキンググループ作成）

【今後より強化されるべきとされた助産師の役割と機能】	
１．妊娠期の診断とケア	①正常妊婦の健診 ②超音波装置を用いた健診 ④ハイリスク妊婦のケア ⑤バースプランへの支援
２．分べん期の診断とケア	⑥医師がいない場での会陰切開・縫合 ⑦医師がいない場での弛緩出血等の限定された薬剤投与 ⑧医師がいない場での新生児蘇生
３．産じょく期の診断とケア	⑨１ヶ月の母子の健診 ⑩乳房ケア
４．女性のケア ５．出産・育児期の家族ケア ６．地域母子保健におけるケア	⑪育児ノイローゼや虐待の対応 ⑫ＳＴＩ予防の対応
７．妊産じょく期における緊急時の母子への対応	
８．妊娠期から育児期まで継続したケア	
９．他職種、他施設等との連携	

【助産師に求められる実践能力及び基礎教育修了時の到達目標（検討中）】

助産師の実践能力	助産師の基礎教育修了時の到達目標			
	大項目	中項目	小項目	
Ⅰ．倫理的感応力	①２つの命を同時に尊重する ②２つの命を尊重するために起こるジレンマに対処する			
Ⅱ．マタニティケア能力	1. 妊娠期の診断とケア	A. 妊婦と家族の健康状態に関する診断とケア	1	時期に応じた妊娠の診断方法の選択
			2	妊娠時期の診断（現在の妊娠週数）
			③	妊娠経過の診断
			4	妊婦の心理・社会的側面の診断
			5	安定した妊娠生活の維持に関する診断
			6	妊婦の意志決定や嗜好を考慮した日常生活上のケア
			7	妊婦や家族への出産準備・親準備への支援
			8	現在の妊娠経過から分べん・産じょくの予測と支援
			9	流早産・胎内死亡など心理的危機に直面した妊産婦とその家族のケア
		B. 出生前診断に関わる支援	1	最新の科学的根拠に基づいた情報を妊婦や家族に提示
			2	出生前診断を考える妊婦の意思決定過程への支援
	2. 分べん期の診断とケア	A. 正常分べん	1	分べん開始の診断
			2	分べん進行状態の診断
			3	産婦と胎児の健康状態の診断
			4	分べん進行に伴う産婦と家族のケア
			5	経腟分べんの介助
			6	出生直後の母子接触・早期授乳の支援
			7	産婦の分べん想起と出産体験理解への支援
			8	分べん進行に伴う異常発生の予測と予防的行動
		B. 異常状態	1	異常発生時の観察と判断および行動
			2	異常発生時の判断と必要な介入
			3	(1)骨盤出口部拡大体位
			④	(2)会陰の切開および裂傷に伴う縫合
			⑤	(3)新生児の蘇生
			⑥	(4)正常範囲を超える出血への処置
			7	(5)子癇発作時の処置
			8	(6)緊急時の骨盤位分べん介助
			9	(7)急速遂娩術の介助
			10	異常状態と他施設搬送の必要性の判断
	3. 産じょく期の診断とケア	A. じょく婦の診断とケア	1	産じょく経過に伴う身体的回復の診断
			2	じょく婦の心理・社会的側面の診断
			3	産後うつ症状の早期発見と支援
			4	じょく婦のセルフケア能力を高める支援
			5	じょく婦の育児に必要な基本的知識と技術支援
			6	新生児と母親、父親、家族のアタッチメント形成の支援
			7	産じょく復古が阻害されるか否かの予測と予防的ケア
			8	１か月までの母子の健康状態の予測
			⑨	生後1ヶ月間の母子の健康診査
			10	1ヶ月健診の結果に基づく母子と家族の支援
			11	母乳育児に関する母親に必要な知識の提供
			⑫	母乳育児に関する適切な授乳技術、乳房ケア
			13	母乳育児を行えない／行わない母親への支援
			⑭	母子愛着形成の障害、児の虐待ハイリスク要因の早期発見

助産師の実践能力	助産師の基礎教育修了時の到達目標			
	大項目	中項目	小項目	
Ⅱ．マタニティケア能力	3. 産じょく期の診断とケア	B．新生児の診断とケア	1	出生後24時間までの新生児の診断とケア
			②	出生後1ヶ月までの新生児の診断とケア
		C．ハイリスク母子のケア	1	両親の心理的危機への支援
			2	両親のアタッチメント形成に向けた支援
			3	NICUにおける新生児と両親への支援
			4	次回妊娠計画への対応と支援
	4. 出産・育児期の家族ケア		1	出生児を迎えた生活環境や生活背景のアセスメント
			2	家族メンバー全体の健康状態と発達課題のアセスメント
			3	新しい家族システムの成立とその変化のアセスメント
			4	家族間の人間関係のアセスメントと支援
			5	地域社会の資源や機関を活用できる支援
	5. 地域母子保健におけるケア		①	保健・医療・福祉関係者との連携
			2	地域の特性と母子保健事業のアセスメント
			3	消費者グループのネットワークへの参加とグループ支援
			4	災害時の母子への支援
	6．助産業務管理		1	
Ⅲ．ウィメンズヘルスケア能力	7. 女性のケア	A．思春期女性の支援	1	思春期特有の悩みや相談への対応
			2	妊娠可能性のある思春期男女に健康な周産期を迎えるための学習や支援
			3	年齢に応じた身体発育状態のアセスメントと支援
			4	二次性徴の発現に遅れがある時の医学的介入の必要性のアセスメント
			5	成長発達に関係する生活習慣のアセスメントと支援
			6	思春期女性をとりまく家族や教師に対する支援
		B．女性とパートナーに対する支援	1	家族計画（受胎調節法を含む）に関する選択・実地の支援、評価
			2	妊娠に関する利用機関の紹介と継続的援助
			3	性と生殖に関する健康への支援
			4	DV（性暴力等）による被害を予防するアセスメント
			5	生活自立能力のない男女に対する妊娠継続・出産・育児に必要な情報提供と支援
		C．不妊の悩みを持つ女性と家族に対する支援	1	不妊治療をうけている対象の理解と支援
			2	不妊検査・治療の選択への支援
			3	治療に関する受容と自己決定への支援
			4	不妊治療に伴う検査や治療の有効性等に関する情報提供
		D．中高年女性に対する支援	1	中高年の性に関する健康障害の予防と日常生活上の支援
			2	中高年女性の健康管理とQOLへの支援
			3	加齢に伴う身体機能のアセスメント
			4	精神心理面のアセスメント
			5	性生活に関するアセスメントと必要な支援
			6	この時期に発生しやすい徴候のアセスメントと症状緩和のためのケア
		E．女性の性感染症に関する予防と支援	1	母子感染予防の啓発活動
			②	性感染症の罹患のアセスメント
			3	検査結果に応じた相談と継続支援
			4	パートナーの理解と支援を得るための援助
			5	性感染症予防のための地域への啓発活動の参画
		F．月経障害を持つ女性に対する支援	1	月経状態のアセスメントと医学的治療の必要性の判断
			2	月経障害を緩和するための指導と日常生活の支援
Ⅳ．専門的自律能力	（開業に伴う責任）			

（第１回参考資料４－２「助産師の技術項目と卒業時の到達度」を一部改変）